

きずな

「私達の結婚観」



撮影協力／サンフラワーボウル

The wedding ceremony that was surrounded in happiness and an impression...

The story of the couple who begins to walk in the future

山崎 辰弥さん・沙由里さん夫妻

【結婚】1年

【入籍】2010年1月30日

*questions

Q1, 交際のきっかけは？

互いの友人が参加した集まりで初対面。その時はほとんど話をする機会 wasn't なかったが、その後あらためて辰弥さんから沙由里さんへ連絡を取り、交際が始まった。

Q4, 結婚して相手の変わった所は？

辰弥さん「あまりふてなくなった。人として大きくなったような気がします(笑)」
沙由里さん「面白くなった」

Q2, デートの思い出は？

初デートの場所は、今でもふたりで出掛けることがあるという倉敷市のボーリング場「サンフラワーボウル」。普段休みの合わない辰弥さんと沙由里さんにとって、GWや年末年始等の大型連休はふたりでゆっくり過ごせる貴重な機会。高知や京都等へ旅行することも多いのだそう。

Q5, 習慣のギャップはどう克服したの？

普段から独り言が多いという辰弥さん。つぶやくのではなく、まるで誰かに話しかけるような声のトーンなので、結婚当初は沙由里さんも驚いたり反応に困ったりしていたけれど、結婚1年を迎えた今では、さすがにすいぶん慣れたのだそう。

Q3, ケンカの仲直り方法は？

結婚前は、けんかになると「私が一方的にふててしまうことが多い」と沙由里さん。その間辰弥さんは、怒るでもご機嫌を取るでもなくただひたすら「放置」。すると次第に沙由里さんがボツリボツリと話し始め、いつもそのまま自然に仲直りしていたのだそう。結婚後は互いに思いうりや深まったためか、けんかをしなくなった。

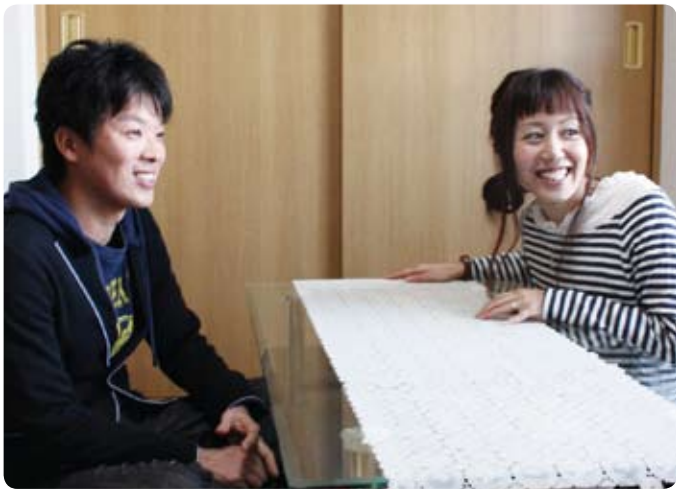
Q6, ふたりのこれからの夢は？

「料理を上達させること」と答えてくれたのは、沙由里さん。普段は、材料を決めたら料理本も読まず自己流で作ってしまうというツワモノ。「分量も量らずに味付けをするので、いつも味が違うんですよね(笑)」。

理想のカタチや憧れの夫婦像なんてない
互いを思いやりながら、笑いながら、今のままでいよう

ルールも、無理もない
ふたりのベストバランス

互いの友人を介して出会ってから、この春で4年。うち1年は夫婦として、新たな絆をつむぎながら歩んできた辰弥さんと沙由里さん。
交際当初から価値観を共有し深い信頼を築いてきたふたりにとって、結婚は「住む家と、通勤ルートが変わっただけ」「辰弥さん」というくらい自然なものだった。
「意外に料理が上手いとか、独り言が多いとか、結婚後の小さな気付きはもちろんある。でも夫婦とはいえない知らないことはあるし、それぞれの家族や友達と過ごす時間も大切にしたい。そういう意味では結婚＝生活拠点の共有と言ってもいいかも」。干渉しすぎず求めすぎず、互いの考え方ややり方を尊重し合うのがふたりの結婚スタイルだ。



大きな夢や目標より
自分達らしい生き方を

共働きのふたりにとって、家事の協力は欠かせない。とはいえふたりの間に決まった役割分担はなく、毎日の洗いや掃除も「気が付いた方がやる」。そんな自由なスタイルでもどちらか一方に負担が偏ってしまわないのは「互いに思いやりながら生活している」からこそ。「家事も(辰弥さんが)率先してやってくれるし、ありがたいことに両親の協力もある。仕事をしながらの結婚生活、想像していたよりずっと楽なんです」(沙由里さん)。これからの夢を尋ねると「特にありません」と、控えめ。「お互い思いやりながら尊重し合いながら、笑って生きていたらそれでいいと思うんです」。随所で言葉を補い合いながら目を合わせたふたりのその先に、確かな幸せへの道筋が見えた気がした。

*Our Wedding



1・2. 星とパステルカラーがコーディネートテーマのウェディングは、リングピローや席次表に至るまでとことんこだわった。3. 両親への手紙の朗読は、感謝の気持ちに涙があふれた。4. 友人達から贈られたあたたかい祝福メッセージ。5. 両親へのギフトとして、籐のバスケットに入った植物を贈った。

一番こだわったところ

「自分達らしく、楽しく」をモットーに、さまざまな手作りアイテムを取り入れた。会場は、星とパステルカラーでオリジナルコーディネート

一番思い出に残っていること

両親への手紙朗読時、涙が止まらずなかなか読み進められない沙由里さんに友人が「頑張れ!」とエール。たくさんの愛情に見守られていることを実感した

後輩カップルへのアドバイス

「準備等大変なこともあります、結婚式はとにかく楽しんでの勝ち。! 私達は準備からしっかり楽しむよう心がけていたので、一つひとつ形になっていくのがとてもうれしかったです」

*about each other



妻：山崎 沙由里
(1983年6月9日生 27歳)

・相手の第一印象は？
優しい

・相手の一番好きなところは？
自分を受け止めてくれるところ

・結婚の決め手は？
彼となら何でも乗り越えられると思えた

・結婚して驚いたことは？
独り言が多い(笑)

・結婚して良かったことは？
ずっと一緒に居られること



夫：山崎 辰弥
(1983年2月6日生 27歳)

・相手の第一印象は？
おとなしい子

・相手の一番好きなところは？
尽くしてくれるところ

・結婚の決め手は？
考え方や感じ方が似ている。馬が合う

・結婚して驚いたことは？
物が多い

・結婚して良かったことは？
家族の大切さが分かった

*Family Style
実家で家族とともに瓦屋を営む辰弥さんと、歯科衛生士として働く沙由里さん。共働きの2人暮らしのため、普段から家事は積極的に協力し合い、どちらか一方だけが負担を感じることはない。休日が重なるのは月1回程度だが、ふたりの時間とそれぞれの時間をバランスよく楽しんでいる